

# 日本国内におけるチャリティーショップの普及と、地域の拠点として社会的価値を高める活動

つづける助成

1年目

知識の提供・普及啓発

フォーラム参加者の  
意欲スキル向上 **100%**

CS講演会等の  
参加団体 **18団体**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **40%**



CSフォーラム、分科会「共感を得る広報」

## 活動内容と成果

- CS講演会やフォーラム等を開催し、CSの認知度を高めることができた。同時に活動を通じて多様な団体や個人との交流が生まれ、社会的認知を高めていく上での基盤が広がった
- CS運営/開設に関する問い合わせに対応し、4件の情報提供・運営サポートを実施した。組織として、社会からの認知、信頼が高まっている
- CSの環境保全活動を推進するため、新たなリサイクル事業の取組みについて学ぶ「新しいリサイクル」を開催した。加盟団体でも勉強会を企画し、新たに取り組むことを検討することにつながっている

## 課題

チャリティーショップ(CS)には収益による社会貢献活動や不用品リユースの受け皿等のさまざまな価値があるが、日本では数が極めて少なく、市民にほとんど認知されていない。

## 目標

日本にCSが普及し利用する市民が増え、リユースによる資源循環が進むと同時に、運営団体が良好な財政基盤の上で、より充実した社会貢献活動を展開できるようにする。



地域に開かれた助合いの拠点を表現したロゴ



今後の  
展望

今後も、講演会や設立相談会、フォーラム等を通じて、CSの価値や認知度を高める活動を引き続き推進する。CSの社会的価値等を広く社会に伝えるため、CSの様々な情報をまとめた『CS白書』を作成予定。

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

JCSNとして、加盟団体の活動情報などを収集し、HPやSNSを通じて社会に十分に発信することができなかった。

### ■工夫した点

「CSフォーラム」は、参加者の満足度を高め、学びを活動にいかすことができるよう、各分野で活躍する講師を招いた。

| 活動地域 |  日本全域

〒231-0023  
神奈川県横浜市中区山下町70  
土居ビル6階 WE21ジャパン内  
E-mail: ijimu@charityshop.jp  
<http://charityshop.jp/>

